

MISt-X01 春の七種（七草）

春の七種（ななくさ）は、四辻左大臣善成（南北朝時代の公家）が詠んだ歌のように

^{な ず な} ^{ご ぎ よ う} ^{は こ べ ら}
「**せり な ず な お ぎ よ う は く べ ら ほ と け の ざ す ず な す ず し ろ** **これぞななくさ**」

という五・七・五・七・七で覚えるのが一般的です。
これで十分覚えやすいのですが。。。。。

☆ 更にイメージを強化した 『春の七種(ななくさ)』

『春野せり菜(17) ご乱行ハックルベリー放っとけない すぐに正座しろ!』

↓ (読み方)

春のせりなじゅうなな ごらんぎょうはつくるべりほっとけない すぐにせいざしろ

↓
春の せりなじゅなな ごらぎょうはつくるべりほっとけの すぐにせざしろ

↓
春の せりなじゅな ごぎょう はくべら ほとけのざ すずに すざしろ

「春の七種」 芹なずな 御形はこべら仏の座 すずなすずしろ

状況

本を読むことが大好きな 17 歳の春野せり菜。
今日は「ハックルベリー・フィンの冒険」を
読んでみた。

主人公ハックは素直で愛すべき人物なのに、
乱暴で粗野な言葉遣いのせいで、
物語の本質から外れた誤った批判を
されていることが気になった。

「もぉーっ！反省させなきゃ！

春の七種のように、香りよくさわやかに、
そして心も体も健康でいなきゃねっ！」



春野せり菜(17歳)

せり(芹:セリ)
なずな(薺:ナズナ)
ごぎょう(御形:ハハコグサ)
はこべら(繁縷:ハコベ)
ほとけのざ(仏の座:コオニタビラコ)
すずな(菘:カブ)
すずしろ(蘿蔔:ダイコン)

※ハックルベリーとは？

マークトウェイン作「ハックルベリー・フィンの冒険」(1885年発表)の主人公。

当時アメリカが抱える問題を含んだアメリカ文学を代表する作品だが、作品のテーマ、作品中に使用される言葉、および主人公の言葉遣いなどが人権団体等により批判され、発禁処分等の憂き目に遭ってきた。